（別紙1）

平成28年度　学校評価の4点セット　　[1学期]

学校名	国東市立安岐小学校

【学校の教育目標】	自ら学び　心豊かで　たくましい安岐っ子の育成　～ 自分から進んでする子どもの育成 ～

重点目標	担当	達成指標	分担	重点的取組	取組指標	徹底項目	取組状況の評価 1学期	達成状況の評価 1学期	改善点
主体的に考え・行動する子の育成（自分から進んでする子）	研究主任（古庄）	① **【1・2年】** **国語・算数の単元テストで、それぞれ平均85点以上をめざす。** **【3～6年】** **国語・算数・社会・理科の単元テストで、それぞれ平均80点以上をめざす。** 児童アンケートの回答について以下のことをめざす。 ② **【1学期】** **自分の考えを発表できる子ども70%以上をめざす。** **【2・3学期】** **自分の意見と友だちの考えを比べて意見が言える子60%以上をめざす。**	学校	◎課題の解決に向けた、主体的・協働的授業に取り組む。	・ペア・グループ学習を1日1回以上取り入れる。 ・算・理を中心に意見の違いを生む授業を、週2回以上、仕組む。 ・月末の児童・教職員アンケート(意識調査)の結果をもとに、プロジェクト会議・運営委員会でPDCAを繰り返す。	・安岐小スタンダード(別紙)の徹底と互見授業の実施 ・児童・教職員のアンケート、毎月月末の実施			
				◎習熟度に応じた指導を実施する。	・4年生以上の算数で習熟度別授業を実施する。 (90%以上の時間で実施)	・単元末テストのデータ集約			
				◎宿題の提出の徹底	・家庭と連携して、提出100%に取り組む。	・宿題の提出100%			
			家庭	◎「安岐小家庭学習の手引き」をもとに、「安岐っ子がんばり表」を活用して、家庭学習の徹底を図る。	・毎月の「安岐っ子がんばり表」に、保護者が子どもへの励ましのコメントを書く。 (毎月第2週目)	子どもへのコメント書き			
			地域	◎学びの教室で、参加する子どもたちに補充学習をする。	・毎月の学校公開日(19日)に参加し、意見・感想を学校に伝える。				
	生徒指導主任（角田）	児童アンケートの回答について以下のことをめざす。 **①「スリーマン活動(いじめゼロ・ワンストップあいさつ・無言掃除)」に対する肯定的回答** **【1学期】** **80%** **【2学期】** **90%** **【3学期】** **100%**	学校	◎児童会活動と連携した「スリーマン活動」を実施する。 ※「スリーマン活動」とは、 ①ハローマン いつでも　どこでも　だれにでもワンストップ挨拶 ②ピースマン いじめをしない ③クリーンマン 無言掃除	①「スリーマン活動」の意義や取組内容の紹介を児童朝会等で年6回実施する。	・児童アンケートの毎月の実施			
					・日々、「いつでも　どこでもだれにでもワン　ストップ挨拶」 「いじめゼロ」「無言掃除」を全職員で、日常的に指導する。 ・月末、子どもの意識調査をグラフ化し、月初めの児童朝	・児童アンケートの毎月の実施とグラフ化			
			家庭	◎全家庭で、家の仕事をさせ、ほめほめ運動を実施する。 ※「ほめほめ運動」とは、目の前の子どもの行為をほめる運動。「子どもの行為をほめる」+「ありがとう」	・一日1つは、家庭で家の仕事をさせて、ほめる。 ・一日1回、家庭でわが子や孫をほめる。	学校便りで継続的に啓発する。			
			地域	◎登下校の際に、児童に声かけをする。 ◎中学生や地域の方と連携した挨拶運動を進める。	・「いつでも、どこでも、だれとでもワン　ストップ挨拶」ができたら、ほめる。				
	体育主任（荒木）	**①運動場300周(60km)達成する子どもの割合70%** **②給食残量をできるだけなくす。**	学校	◎ニコスポ(火・木・金の13:20～13:30)で全校で運動場を走らせる。 ※「ニコスポ」は、「ニコニコスポーツ」の略。	・1学期、全ての子どもが100周を達成するように、ニコスポを中心として各学級・全校で取り組む。 ・100周ごとに達成した子どもを表彰したり、掲示板で紹介したりする。	・ニコスポの徹底 ・達成者の表彰			
				◎もぐもぐタイム(毎日)、安岐小ぺろりん賞(月1回)で、完食を推奨する。	・給食を自分で調整させ、学級全体で残量が減るように指導する。 ・自分で調整した後は、残させない。 ・月末、子どもの意識調査をグラフ化し、月初めの児童朝会で各担当から指導する。	・給食完食指導の徹底と取組のグラフ化			
			家庭	◎自力登校をさせる。 ◎朝ごはんを必ず食べさせてから登校させる。 ～早寝・早起き・朝ごはん～	・月ごとの、「自力登校、朝ごはん」の取組結果から、わが子や孫のことを振り返り、できていなかったら改善に努める。	学校便りで継続的に啓発する。			
			地域	◎自力登校を見守る。スクールガード。	・自力登校ができていたら、ほめる。				